



2012年11月7日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

カンボジアの看護教員5名、タイの大学を卒業 看護の学士を取得し祖国へ

この度、2011年7月からタイ（バンコク）のセントルイス大学へ留学していた5名のカンボジア人看護教員が、14ヶ月の学びを終えて卒業します。卒業式の詳細は以下のとおりです。

- 1) 日時：2012年11月10日（土）
11:00～14:30
- 2) 場所：9 Convent Road, Trinity Hall, St. Joseph's Convent, Silom
Bangrak District, Bangkok, Thailand

<看護人材の質の向上が喫緊の課題>

カンボジアでは、看護師の人数不足とともに看護の質の向上が課題となっており、2008年に看護学士教育（4年制）が国立保健科学大学において開始されました。医療系の学部を設置する私立大学も増え、現在では国公立私立合わせて3校（私立2校、国公立1校）で看護学士コースが実施されています。しかし教育の状況を見ると、教員の多くは高校卒業後3年の教育を受けた専門学校卒業生であり、学士の学位を持たない教員が学士コース教員として授業を行っています。看護学士コースの学生は教育の質に疑義を持っており、2009年には学生による抗議デモも行われました。このような状況に対し、現在看護教育を統括しているカンボジア保健省は、教員資格の見直しも含めて、看護教員の学士取得は喫緊の課題と認識しています。

また、保健省で働く中央官僚の中でも、看護行政に携わっている学士卒業レベル以上の看護人材は1名のみであり、中央レベルでの看護人材の枯渇がカンボジアの看護の発展の大きな阻害要因となっています。

<看護師の学士取得を支援>

上記状況を改善するために、JICAでは「医療技術者育成システム強化プロジェクト」により、タイのセントルイス大学と共同でカンボジア人看護師のための学士ブリッジコースを立ち上げ、カン

ボジア人看護師への学士取得支援の取組みを行っています。タイが留学先として選ばれた理由は、現在タイでは大学で4年間学んだ学士保持者の看護師のみが育成されており、教員の質が総じて高く、周辺アジア諸国の中ではトップレベルの看護教育が提供されているためです。プロジェクトの支援の下、これまで合計26名のカンボジア人看護師を3回に分けてタイに送り出しており、最初に派遣された5名が今回卒業することとなりました。コースの期間は18ヶ月で、この学士ブリッジコースを卒業した者は、カンボジア国内の看護教育、看護サービスの改善のため、それぞれの所属先の第一人者として活躍が期待されており、カンボジア保健省内においても卒業生の有効的活用が検討されています。プロジェクトの詳細は以下のとおりです。

プロジェクト名：医療技術者育成システム強化プロジェクト

カンボジア側実施機関：保健省人材育成部

プロジェクトホームページ：<http://www.jica.go.jp/project/cambodia/004/index.html>

<プレスリリース問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

金澤 祥子

Email:Kanazawa.Shoko@jica.go.jp

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-67

所在地：6th, 7th, 8th Floors, Building #61-64,
Preah Norodom Blvd, Phnom Penh, Cambodia